

# 花屋敷 笑顔だより

第2号

発行/社会福祉法人聖隷福祉事業団 花屋敷せいの里 2002年3月発行  
〒665-0808 兵庫県宝塚市切畑字長尾山5-321 TEL.0727-40-3388 / FAX.0727-40-3980



～花屋敷栄光園 デイサービスでの  
節分のレクリエーション風景～

**「聴く」**

トントンとノックすると、「はい。」

男性の名前のある部屋から女性の返事が返ってきた。中から出てきた女性は見知らぬ顔だった。名前を思い出すのに一呼吸がかったが、すぐに思い出した。聖隷浜松病院を少し前に定年退職をした産婦人科の女医さんであった。ご主人も医師で、ご夫婦ともに、ここに入所しているとは考えられない状況であったので、私と一緒に来た人が、「先生、どこを...。」と疑問を投げかけた。

浜松の特別養護老人ホーム「和合愛光園」の、痴呆性老人のためのグループケアでの出来事である。その女医さんはボランティアに来ているのだという。それも入所しているご老人の話を聞くというためのボランティアだ。

社会福祉施設での集団対集団の介護の場面では、どうしても最低限行わなければならない衣、食、排泄、入浴等が優先される。いつの間にかそれに慣れてしまうと、それだけで良いことになってしまふ危険性ははらんでいる。

私たち職員は、利用者の方の話を聴くことは重要なケアであることは十分承知しているが、結局手のかからない人は後回しになり、あまり意思表示しない人だと、置き去りにしてしまふ可能性がある。

「スピリチュアル・ケア」という言葉がある。スピリチュアルとは精神的、霊的という意味である。キリスト教を背景にした考え方であるが、宗教にこだわったものではない。精神的豊かさのための援助、それは人間として生きる意欲を、また死への受容を得るための援助であるかも知れない。表現はオーバーになったが、じつと座って側にいること、話を聴いてくれること、何げない話に耳を傾け相槌を打ってくれることにはスピリチュアルケアの役割がある。これはカウンセリングの特殊な技術によってのみ可能だというわけではない。

利用者のどの人にさういうニーズがあるかというのは、本人にもはっきりわからないし、よほどその人の細かな観察をしても、具体的ニーズとして表面化するものでもない。心のニーズは、あるかないか、二つに一つではない。上手にそれを引き出してくれる人に出会わなければ、無いのも同然である。発見され、日の目をみれば、そのニーズをもつ当人の自己認識を豊かにし、充足させる。



常務理事 武居 敏

## 花屋敷栄光園ショートステイ

はじめまして。花屋敷栄光園ショートステイです。ショートステイは、ご家庭で一時的に介護ができなくなった場合、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)花屋敷栄光園内で、お世話させて頂く在宅サービスです。定員12名で、1階に3部屋、2階に9部屋ご用意しています。主に1階は、身の回りのおおよそのことができる方を対象にしており、痴呆のある方、重介護が必要な方は2階を利用して頂くようになっています。また昨年6月より、2階ではグループユニットの空間で、ショートステイを行っていき事になりました。

日曜日以外は、ショート担当とパート職員の2名で勤務しています。送迎で担当が外へ出ている時も、一人は職員が残っており、利用者に対応ができるようになりました。又、時々喫茶を行ったりしています。コーヒー等を用意しており、利用者にも少しでもくつろいだ時間を過ごして頂こうと思っています。ユニットには小さなテラスの部分があり、気候が良い時は、テラスでお食事をするなどの試みも計画しているところです。レクリエーションも少しずつですが取り入れていっており、今までは卓上ボウリングや書道、散歩、貼り絵を行いました。まだまだグループユニットでのショートステイは試行錯誤の段階ですが、より充実した取り組みが行なえるように頑張っていきたいと思っております。今後はより家庭の雰囲気に近い環境作りを行い、ショートステイ利用中でも、ご家庭にいる気分で過ごして頂けるようなユニット作りを取り組んでいきたいと考えています。今後も皆様のご要望に耳を傾け、応えていけるようなショートステイを目指していきますのでどうぞよろしくお願い致します。



〈ユニット空間〉

食事をしたり、お茶を飲んだり、多目的に使用している。



テラスでの食事の様子

ショートステイのお問い合わせ

TEL.0727-40-3553

受付 AM10:00～PM4:00  
(土・日・祝を除く)

※事前に見学も可能です。(予約必要)

※写真の掲載につきましては、御本人、御家族のご承諾を得ています。

### 御寄贈ありがとうございました

財団法人 中央競馬馬主社会  
福祉財団 阪神馬主協会様より、  
助成金を頂き「リフト付送迎  
車両」を購入させて頂きました。  
有難うございました。



### ボランティアありがとうございました

● ボランティア記録より 平成13年4月～12月 ●

※順不同・敬称略

#### 〈個人〉

若生 美代子/近藤 周太郎/濱田 幸子/米田 敏夫/市川 彩/太田 信行  
新美 有香/角岡 文子/金本 春子/梅田 あゆみ/干本 のどか/山下 奈津子  
東 和子/坂下 幸子/福西 麻友子/家倉 光子/長谷川 富江/加藤 幸子  
田中 美代子/神座 カオル

※順不同・敬称略

#### 〈団体〉

コミュニティひばり/喫茶ひばり/長尾台小学校/ありのままグループ  
朗読の会 ほのほの/伊丹聖書教会/宝塚ボランティア劇団 わらべ/すみれ会  
光ヶ丘中学校PTAコーラス同好会/同好会 大和撫子/宝塚唱歌の会/カナリヤの会  
ケアハウス花屋敷大正琴ボランティア/女声合唱団 コーロ・アロードラ  
宝塚アートソサイエティー/女声合唱団 紫音

〈花屋敷せいの里納涼祭ボランティアの皆様、ありがとうございました。〉

## 〈ボランティア365：アジア交流計画〉

社団法人 日本青年奉仕協会(JYVA) 国際交流センター



この計画は、1987年より国や文化の違いを超えた地球的規模のネットワークを築き、個人と個人の出会いやつながりを大切に、平和と共存への道を共に探求することを目的に実施されています。聖隷福祉事業団は、国際交流と福祉の推進を基本方針の一つとしており当初より関わりがありますが、花屋敷せいの里におきましても実現致しました。

### スーレイさんのボランティア日記

in デイサービス 10ヶ月を通して

Q1 日本に来たきっかけは？

一九九七年に一回ボランティアで横浜に来日した。身体障害者施設、児童福祉施設、特別養護老人ホームへ行き話し相手や簡単な介助をした。その時にシンガポールからすでに1年間ボランティアに来ていた人と出会い、私も1年間ボランティアをしたいと思い、二〇〇一年四月に再来日。

Q2 日本に来て驚いたことや、感じたことは？

日本に来て驚いたことは、言ひの方の為に信言がわかるように言葉が流れるようになっていたこと。身体障害者の方の為に、工夫されているという事にとても驚いた。又、エスカレーターに乗った際シンガポールでは2人で乗っているのが普通だが、日本では片側を空けて乗らないといけないことに、日本はとても忙しい国だと思った。

Q3 デイサービスにいて良かった事や思い出に残っている事は？

利用者が私の名前や出身地を覚えていてくれる事が嬉しい。思い出に残っている事は、施設の音響で劇中にお茶係として出演した事や、タコ焼きを作った事も良い思い出になった。又、日本の文化、季節の浴衣、食べ物、祭りなどを覚えることが出来て楽しかった。

Q4 スーレイさんのボランティアの夢や希望

ボランティアの人数を増やしたいと思っている。ボランティアは、難しくなく誰にでも出来る。時間がないとか、時間をもたないという事は考えなくて欲しい。利用者や老人や子供、身体障害者の方とボランティアと分けて接するのではなく利用者もボランティアもフレンドリー(友達)のように付き合えたらと思っている。

Q5 スーレイさんから一言

花屋敷にいる時間が短かったけど、私と過ごしたことを覚えていて欲しい。1年間ありがとうございました。

スーレイさんはデイサービスセンターでの役割として、利用者との話し相手や入浴後の整髪、配茶、食事のメニューや、誕生日の記入を任されていました。今年の2月25日でボランティア期間終了。短い間でしたがお疲れ様でした。今後のご活躍お祈り致します。

花屋敷せいの里 受入担当  
ケアハウス花屋敷 園長 千葉 等



～ デイ利用者と一緒に ～



～ ボランティアの仲間と一緒に ～

## 花屋敷栄光園 2F

こんにちは。特別養護老人ホーム2階です。2階には女性42名、男性11名の方が生活されています。早いもので設立してから3年が過ぎようとしています。今までは2階を1つのフロアと考えていましたが、昨年10月よりフロアを2分割する事を行いました。フロアを分割する事にもない、職員も2つに分け、それぞれのグループの担当制としました。その事により日常の業務にゆとりができ、生活されている方々と過ごす時間を増やす事が出来るようになり、又、生活している方一人一人に適した対応が出来るようになってきました。業務にゆとりができた為、その時間を生活されている方々に楽しんで頂けるよう、レクリエーション系の職員を中心に活動を行っています。現在は書道クラブ・歌クラブ・料理クラブ・個別レクリエーションが定期的に活動しています。料理クラブではおやつ的なものを作り、1対1での対応が望ましい方に個別レクリエーションを行っています。又、フロア内の各グループにて散歩等を随時行い、春・秋の季節になると外出行事を企画しています。昨秋には、久安寺に紅葉見物と、園の庭にて落ち葉等でたき火をし、焼き芋を行いました。今後も季節感のある活動を行い、より楽しんで頂けるよう努力していきたいと思います。



～ 料理クラブでのショット～



何が出来るかな？皆さんの顔にも笑顔や真剣な表情が…。



～ 外出にて、紅葉の美しさに思わず笑みが。～